

青年部通信

事務局 蒔苗 陸



9月11日（金）、今年度のもち米の刈取作業を行いました。当日は朝から雨が降っており、「午後からの作業はできるだろうか」と心配していましたが、午後は青空が広がり、無事に作業をスタートすることができました。りんごの収穫など各農家が最も多忙を極める時期にもかかわらず、参加してくれた部員の皆様のご協力により、無事に終わることができました。今年度は、昨年より部員数がやや減少していましたが、田んぼ周辺の草刈りや波板の洗浄、そして実際の刈取に至るまで一人ひとりが積極的に動いてくれたおかげで、想定よりも早く作業を終えることができました。

昨年に続き、藤沢地区の林崎樹さんと紙漉沢地区の清野大輝さんがオペレーターを務めてくださいました。二人のスムーズかつ丁寧に作業を進める技術と姿勢には、本当に感心させられます。確かな技術を持った若手部員が中心となつて事業を進めていくことは今後の青年部活動において、必要不可欠です。

これからも優れた人材や取り組みを部全体でしっかりと大切にしていきたいと感じました。

今後の青年部活動としては、もち米の袋詰め作業を予定しています。昨年の反省点をしっかりと活かし、より一層スムーズに作業が進むよう計画してまいります。



近日販売!!



令和8年産青年部もち米の収穫を無事に終えることができました。毎年購入していただいている皆様、販売まで楽しみにお待ちください。青年部一丸となり真心込めて作った「もち米」ぜひご賞味ください。

いきいき女性部通信

事務局 堀井 裕子



9月16日、エルダーミセス部会27名は、秋田県小坂町にある国指定重要文化財の芝居小屋「康楽館」を訪れました。康楽館では5月から10月にかけて、大衆演劇や歌舞伎、ショーなどが期間限定で開催されています。今回は8月から上演されている「クラシカルレビュー」を観劇しました。世界でも珍しい男性メインのレビューで、美しい歌声と華麗なダンスパフォーマンスが繰り広げられます。参加者からは「舞台や芝居も良いけど、こうした踊りや歌のショーは気持ちが良いね」という意見や、腕が疲れるほどの拍手を送ったり、花道を歩いてきた役者さんとハイタッチをしたりして大盛り上がり。帰りのバスの中でも「また行きたいね」「次は畑が落ち着いてから温泉もいいね」と、次の企画の話題で持ちきりでした。

日頃の農作業の合間を縫って、心からリフレッシュできた充実の一日となったのではないだろうか。

途中立ち寄った道の駅では、「秋田といえば、やっぱりいぶりがっこを買わないと!」畑を手伝って



みんなで行けると楽しいですね♪

